

人生100年時代を見据え、誰もがより長く元気に活躍できるようにするため、健康づくり、がん対策や循環器病対策、難病対策などに取り組んでいます。また、国内外の感染症から国民の命を守るため、次の感染症危機が発生した場合の備えも含めて先頭立って対策を行っています。加えて、食中毒への対応など食品衛生の確保や、建築物やホテル・旅館などの衛生の向上を進めています。

#### 部局の所掌分野

##### 健康づくり

栄養・食生活、運動、睡眠など、健康に関する国全体の目標を設定し、企業・自治体等と連携・協力しながら、健康寿命の延伸に向けた国民運動を推進しています。

##### がん・循環器病対策

がんや循環器病をはじめ、様々な疾病について、予防法の普及啓発や医療体制の整備、疾病との共生など総合的な支援を行っています。

##### 難病対策等

希少であるために知見が集約されずいまだに治療法が確立していない病気に関する調査研究を推進することによって、難病の克服を目指すとともに、難病患者やその家族が安心して暮らせるよう、総合的な支援を行っています。さらに、ハンセン病に対する偏見差別解消に向けた取組を進めています。

##### 移植医療対策の推進

諸外国と比較して移植件数が低い水準にある臓器移植医療や、骨髄移植等の造血幹細胞移植医療を希望する方へお届けできるよう、国民の理解を深めるための普及啓発や移植医療の提供体制の整備に取り組んでいます。

##### 生活衛生関係営業の振興

理容業や美容業、クリーニング業、旅館業等、国民の生活に密着した業種の衛生規制と振興に加え、建築物の衛生的環境の確保等を通じ、公衆衛生の向上・増進を図っています。

##### 食品の安全の確保

国内流通食品の監視指導、輸入食品の水際での安全性確保に向けた取組や、食品の安全性に関する情報の公開や消費者等の関係者との意見交換の推進により、我が国の食品の安全を確保しています。

##### 感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対応のような、空港等での検疫や予防接種を含む様々な感染症対策や、次の感染症危機を想定した備えに取り組んでいます。

#### 健康づくりの推進

厚生労働省では、「健康日本21」において、健康づくりに関する様々な目標を掲げ、必要な取組を講ずることで、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現を目指しています。

例えば、睡眠による休養を十分にとれている人の割合は国全体で減少しているため、2025年度は「睡眠」をテーマとしてイベントを実施し、質・量ともに十分な睡眠を確保することの重要性について、周知啓発を行いました。

また、女性の健康については、若年女性のやせや更年期障害など、ライフステージごとの様々な健康課題への対応も重要です。2024年10月に設置された「女性の健康総合センター」を中心とした、女性の健康に関する研究や情報発信の強化、自治体等における相談支援体制の強化など、様々な取組を行っています。

このような施策を通じて、国全体の健康づくりの推進に取り組んでいます。



厚生労働省 HP(フォトレポート(ナイトキャップをかぶったピカチュウとカビゴンを『睡眠応援大使』に任命))から引用

#### 次の感染症危機に備える

新型コロナウイルス感染症への対応に関する様々な教訓を、次に感染症危機が発生した時の対応に活かすことが重要です。

新型コロナウイルス感染症が発生した当初、厚生労働省内の関係部署は複数の部局にまたがり、司令塔の役割を果たすべき課は多忙を極めました。このため、2023年9月、省内に「感染症対策部」を設置して、平時・感染症危機発生時いずれの場合も省内の感染症対策を主導できる体制を整えました。

また、感染症危機が発生した際の政府の対応を定めた政府行動計画について、感染症対策部と同時に設置された「内閣

感染症危機管理統括庁」の下で、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえた見直しを2024年7月に行いました。

さらに、感染症等の情報分析・研究・危機対応、人材育成、国際協力、医療提供等を一体的・包括的に行い、政府に科学的知見を提供する「国立健康危機管理研究機構」が2025年4月に創設されました。こうした対応、準備を通して、次の感染症危機への備えに万全を期すべく取組を進めています。



検疫所のイメージキャラクター「クアラン」

## Hot Topics

### がん検診受診率向上のために

がんは我が国の死因第1位であり、国民の生命と健康にとって重大な問題です。がん対策は、がん対策推進基本計画に基づいて、「がん予防」、「がん医療」、「がんとの共生」の3本柱に沿って様々な取組を進めています。特に「がん予防」については、検診やその後の精密検査の受診率向上に向け、ハンドブックの作成等を行い、自治体が住民の方々へ個別に受診を勧める・初めて検診の対象年齢となる方へクーポン券を配るといった取組を行えるように支援しています。



### 予防接種施策の推進

ワクチンで防げる疾病はワクチンで予防するという基本理念のもと、法に基づく予防接種の対象となる疾病や接種対象者を、リスクとベネフィットなども考慮しつつ検討しています。

直近では、乳幼児の「ロタウイルス感染症」(2020年)や、高齢者の「带状疱疹(たいじょうほうしん)」(2025年)を、定期の予防接種に追加しました。

科学的知見に基づいた、わかりやすい周知・広報にも取り組んでいます。

